

【副島隆彦先生の最近の日本政治言論を見る！】

⇒編集後記で

~~~~~

どうもゆうです！

さて、前号まででローレンバフェットの投資哲学なんかを  
書きました～

かなり投資やってる方にとっては学ぶことが多いはずなので  
是非ご覧くださいね～

さて、それで、この前ですが日本では参院選が終わりました。

それで私ゆうが政治哲学なんかを学んだのが副島先生ですが  
最近の日本の政治情勢なんかについて  
副島先生が記事にされていました。

今日はその辺を見ていきましょう！

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【マスコミが報じない「吉本興業に天下りをした警察 OB 30 人」  
について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/yoshimoto\\_keisatuob.pdf](http://fxgod.net/pdf/yoshimoto_keisatuob.pdf)

(この号を書いたら私にあからさまに嫌がらせが入りましたから  
本質だと思います)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

(写真 37 枚あり) 【マレーシア最大級のメガモール  
ミッドバレーに行ってきた】

[http://fxgod.net/pdf/malay\\_megamall.pdf](http://fxgod.net/pdf/malay_megamall.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート 【なぜ最近マスコミは「軍用地投資」をおおるのか？】

[http://fxgod.net/pdf/gunyouchi\\_toushi.pdf](http://fxgod.net/pdf/gunyouchi_toushi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF 【「行動力を上げる裏技」とは?】

<http://fxgod.net/pdf/koudouryoku.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【「20代の4割は童貞」という

驚愕の統計データについて考える!】

[http://fxgod.net/pdf/20dai4wari\\_doutei.pdf](http://fxgod.net/pdf/20dai4wari_doutei.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【EUのドイツとフランスは

米ドル決済を使わないINSTEX（インステックス）活用を

進めていく】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/instex\\_eu.pdf](http://fxgod.net/pdf/instex_eu.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【なぜマスコミは芸能人の  
入江さん、宮迫さん闇営業問題を  
「プロパガンダ」しているのか？（警察天下り利権）】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/irie\\_miyasako.pdf](http://fxgod.net/pdf/irie_miyasako.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【NY ダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート（コラム）

「私たち人類は実は何も知らない！？」  
[http://fxgod.net/pdf/muchi\\_no\\_chi.pdf](http://fxgod.net/pdf/muchi_no_chi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

メルマガバックナンバーより

【副島隆彦先生と田中研究員の「NHKをぶっ壊す」についての  
最新言論を見る！】

<http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/soejima20190718/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「生産性」をあげると誰でも楽しんで稼げる、という話】

<http://fxgod.net/pdf/seisansei.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FXNの動画「+105万円利益確定のトレードの説明動画です！」

⇒ <http://www.snatchfx.com/fxn150man>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート【天井の時間帯は！？】

<http://fx-ntre.com/pdf/ci5.pdf>

**【FX 天井・底の時間帯が分かる手法】 サイクル理論とは！？**

<https://youtu.be/a4AAr-xn4FY>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX サイクル理論動画】 ライト・レフトトランスレーションの  
エントリー戦略とは？（FX・Nが徹底解説）**

⇒ [http://www.snatchfx.com/cycle\\_trade](http://www.snatchfx.com/cycle_trade)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画】 スーパートレーダーFX・Nが教える「サイクル理論・入門」  
を公開！**

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/7091080/fxn\\_cycle1/](http://www.fxgod.net/a/groups/7091080/fxn_cycle1/)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX・NさんのPDFレポート1】

「サイクル理論とは何か？」

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_theory.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_theory.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX・NさんのPDFレポート2】

「サイクル理論トランスレーション編

トランスレーションを理解して「波の性質」を見極める！」

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_translation.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_translation.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【サイクル理論損切りラインの決め方とは！？】

⇒ <http://fx-ntre.com/pdf/ci2.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【PDF】大富豪たちが使う「サイクル理論の構成」とは？

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_kousei.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_kousei.pdf)

PDF【サイクル理論天井と底はどこ！？】

⇒ <http://fx-ntre.com/pdf/ci3.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【動画】分割決済の方法はこちら↓

⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=huDd8YAX4qA>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



=====**編集後記**=====

さて、日本でこの前ですが参院選が終わりました。

それでこの参院選の結果を受けて、副島先生が  
昨日まででいくつか記事を書いておりました。

ちなみに私ゆうは副島隆彦先生なんかはかなり  
政治哲学なんかを学ばせていただいているけど

それもあって少し最近私が書いていることとは  
当然人間が違いますから違うことを書いてますが、

やはり多くの見方を知るのは大事かと思いますので  
掲載しております。

それで副島先生なんかは参院選の最中に  
「NHKをぶっ壊す！」を支持する感じで書かれていて  
メルマガでも扱っておりましたが、

ただ山本太郎氏のれいわ新撰組なんかの話も  
書かれておりますよね。

副島先生が2つの書き込みをしているので  
それを見てください！

特に7月22日と26日に書かれた記事2本が載ってますので  
見てみましょう～

=====

副島隆彦です。今日は、2019年7月22日です。

2つ下 ↓ の私の文、「× リポート ではない。  
レポートと書きなさい」論 を、

私は、一所（いっしょ）懸命に、5時間もかけて書いていたら、  
いつの間にか、日を越えて、もう22日（月）になっていた。

気づいたら、田中進二郎くんが、参議院選挙のことで、  
昨日の投票日に、ここに書いている。

私は、大方（おおかた）彼と、考えが同じだ。  
その上で、私の考えをこれから書く。

私は、もの書き、言論人だから、  
やはり字（その集合体である文）を書いているのが、  
一番、自分に向いている。

私は、これまでの30年に、いくつも、裏切られた、  
あるいは、敗北した、選挙運動に 加わった。

そのあとの幻滅が大きいから、私は、60歳を越したら、  
国民政治である、国会議員選挙に関わらないようになった。

私は、今回の 参議院選挙に 初めは全く、  
関心を持たなかった。

ところが、後半になって、山本太郎が、  
とんでもない戦略を組んで、安倍晋三たち、  
愚劣な権力しがみつき人間たち体制派に

奇策で挑んだことを、知った。

それで、政党「れいわ新撰組」から、  
船後（ふなご）靖彦と、木村英子の2人の  
重度身体障害者の 2人ともが、当選したらしい。

らしいとしか、書けない。

テレビは、比例区 の結果を、今の午前2時でも、  
まだまったく報道しない。

だから私には、正確な結果が、分からない。  
それでも、山本太郎が、狙ったとおりの奇策の、戦術が勝利した。

山本太郎の党 は、比例区（全国区）の、  
得票数で、300万票に届かなかったから、  
彼は落選したようだ。

それでも、「2%の得票数」の力で、  
政党要件（せいとうようけん）を満たしたので、前述した、  
重度障害者の2人が当選した。

これで、山本太郎は、これからも、この党の党首として、  
堂々と、国会の中で、ガンガン、発言するだろう。

彼は、もう、参議院と言う枠組みが飽（あ）きたのだ。

安倍首相と、国会で、ガチンコの 男の対面を張った、

質問・答弁の勝負をして、どれぐらい、

山本太郎が、安倍晋三を やり込めて、何回、圧勝したことか。

安部は、怒り狂いながらも、

「この男には、自分は、（一対一の男の勝負では）勝てない」

と、自分の能力の無さを、重々、知ったはずだ。

山本太郎は、次の衆議院選挙を、狙っている。

そこで東京のどこかからか、小選挙区で出て、当選する気だ。

どうせ、安倍晋三は、今年の暮れには、

総選挙をしなければ済まない。

その時、山本太郎は、また、「れいわ新選組」の名で、

「れいわ」を、見事に、今回、安倍晋三と菅義偉（すがよしひで）から

奪い取った、

さらに、その上に、全国区（比例区）でも、

たくさん立候補者を立てて、暴れる気だ。

この、奇策きわなりない、作戦、戦法の見事さに、

一週間前まで、私も気づかなかった。

山本太郎の、このやり方を、一番、嫌ったのは、

まさしく安倍晋三、本人だろう。

ここまで、安倍晋三のイヤなことを、  
平気で、ガッツン、ガッツンやられたら、あんぐりするしかない。

公職選挙法の微罪の違反で、落選した山本太郎を、  
捕まえて、痛めつけてやろうとしている

安倍の子分の警察官僚たち（服部半蔵だ） や、  
山本太郎の、女性スキャンダルとかで、追い詰めようと画策する  
週刊誌や、テレビ局 も、ここまで、山本に、先回りされると、

もう、簡単には追いつかない。手が出ない。

もう、人格破壊（キャラクター・アサシネーション）の、  
スキャンダル攻撃など、通用する時代ではなくなった。

このことが、私は、もの凄く嬉（うれ）しい。

田中進二郎くんが、書いたとおり、これまでとは違う、  
まったく新しい日本国民が、大きな、政治関心の層として、  
出現している。

新しい国民たちは、もう、既成政党の、野党の連中の、  
言うことなども、相手にしない。

彼らの野党党首の演説なんか、まったく、面白くない。  
聴き厭（あ）きたを、通り越して、あくびが出そうだ。

「野党も、体制の補完物（ほかんぶつ）だ」と、  
国民が、見破ってしまった。

ネット（ウェブ SNS ）を見ていたら、  
立花孝志（たちばなたかし）氏 が、当選したらしい、と知った。

彼は、選挙戦の 最後の数日、体を壊して、寝ていたようだ。  
あんなきつい人生、生活をずっとやっていたら、  
本当に疲れるだろうと、同情する。

私は、立花孝志の ユーチューブから、  
ものすごくたくさんの 政治知識 や、見識、法律の  
実際に役に立つ知識を学んだ。

この人は、本当に頭のいい人だ。

「100万票で、議員が、一人、受かるんです。

200万票で、2人です」

「200万票、全得票数の 2% を集めて、

1人、国会議員が、いれば、それで、政党要件を 満たす。それで、年間に、  
6億円の、政党助成金が、入るんです」 と。

すばらしい。

それから、立花孝志は、終盤戦の投票日の4日前、  
7月16日ごろ、渋谷の NHKの 放送センターの前に行って、

宣伝カーの上から、

「この本部ビルでない、こっち側の、  
たくさんあるオフィス・ビルの方で、NHKの職員は、  
セックスをしているんです。

本当に、NHKの職員は、（女性の職員も）  
セックスが大好きなんです。

（私は、昔、ここで、働いていたから、よく、知っているんです）」  
と、 やっていた。すごいなあ、と私は、感動した。

NHKの、実際にここで働いていて、あるいは、  
出入りしている 特権階級の メディア人間たちは、

「本当だ。立花の言うとおりだ、  
私たちは、こういうことを、本当にしているよ」と、

現場は、妙に感動しているのではないか。

女性のNHKの、“良家の子女”の  
正規入社の職員たちでも、である。

NHKは、上品な、お金持ち階級の 子供たちしか、  
正社員（正規の職員）に採用しない。本当だ。

就職試験でも、公然と差別がある。

公然と、こういうことをやっているのは、外務省と、ここぐらいだ。

なぜ、お金持ちの家の、大学卒業予定者しか、採用しないか、  
というと、それは

、「NHKは、給料が安いんですよ。公務員と、まったく同じなんです」  
(立花の告発に拠れば、ウソだ)。

私、副島隆彦は、昔、NHKのプロデューサーを名乗る男と、  
すこしだけ付き合ったことがある。

高級外車を乗り回していて、私も乗せてもらった。

彼が、こういうことを、全部、話してくれた。

彼は、平日も、ぶらぶらして、NHKに出勤しなくていい。

年に、1, 2本、作品を作れば、あとは、  
自由にやっていたらいいんだ。

ヒマラヤの山とか、アンデスの山とか、撮影に行けば、  
それでいいんだよ。

「給料が安いからねー」と、この、大虚業の経営者一族を、  
父に持つ、金持ちボンボン息子は、嘯(うそぶい) いていた。

NHKとは、そういう、会社なのだ。

高卒で、ノンキャリアの、立花孝志でも、45歳ぐらいで、  
辞めるときに(週刊誌に、内部告発したことが、バレて、クビ)、  
年収の給与で、1100万円あったと、



確か、ユーチューブで話していた。彼は、ウソをつかない。

これが、国営放送局（“公共放送”、だと）の、  
特殊法人（とくしゅほうじん）であることを、  
当然のこととしている、特権階級の 集団である、  
NHK の、実態だ。

それが、スマホの ワンセグ とか、持っているだけで、  
一台ずつ、受信料を取ります、と言いつけている。

それに対して、貧困層の日本国民が、本気で怒りだしている。

NHKの集金人も、そういう貧困層を、狙い撃ちにして、  
文句を言わない、人たちに、襲いかかっている。

野党が、だらしがないから、「消費税、絶対反対」を  
選挙の大目標に掲げて、戦線統一して、党を合体させてでも、

本気で、自民党と闘わないから、いけないのだ。

消費税値上げ反対で、野党が、団結できないのなら、  
その次は、「NHKの受信料なんか、払わない」の、  
国民運動で、結集するしかない。

だから、

立花孝志の、「NHKから国民を守る党」の立花孝志の  
闘いが、際（きわ）だって、すばらしいのだ。

私が、政治活動家をやっていた、昔は、心底、疲れた。

議員（政治家）、すなわち、みんなの代表、になろうという人間は、  
普通の体力や、普通の神経をしている人では無理だ。

異常なまでに強い体力と、精神力と、  
目立ちたがり（アウトスタンディング）屋の  
異常な欲求、のある人でないと続かない。

このことは、自民党でもそうだ。

政治家（議員）は、皆、生来の政治活動家である。

立花孝志は、田中進二郎くんが、書いているとおり、  
これまでとは違う、全く新しい人間だ。

かつ、自分で言うとおりに、きわめて「能力の高い人間」だ。  
これからの日本にとって、大事な政治家だ。

彼の、脳の作りと、行動の仕方は、他の人間たちとは、  
全くちがう。

私は、昨日、立花氏の、ユーチューブを、いくつか、見たら、  
あの 驚くべき行動力で、「NHKをぶっ壊す」を、

その後も、ずっとやっていたのだ。

この1年間の 彼の行動を 自撮（じど）りで、  
撮して（ストリーミング配信 と言うのか） 、

自分でユーチューブへのアップロードも、操作して、  
自分で何でもやって。

さらには、スマホの動画の、SNS への  
配信や受け答えも実に念入りな、活動のことを、  
私は、知らなかった。

一昨日、7月20日の、選挙の最終日の  
彼のユーチューブを見たら、なんと  
250万回のビューアーと出ていた。凄いものだ。

250万人の日本人が、彼の政見放送を見たのだ。  
田中進二郎の、書き方では、400万人だ。

山本太郎の 「れいわ新撰組」 の、全国の主要都市での  
街頭演説でも、200万人ぐらいのネット視聴者がいるようだ。

私が、分かったことは、ネット（ウェブサイト、SNS ）の力が、  
ここまで、日本でも、大きな力を持つようになった、  
ということだ。

これでは、従来の、自民党と、電通（でんつう）と、  
既成のテレビ局、新聞が、管理する選挙報道では、  
もう、管理、統制（とうせい）しきれないほどの、

多くの 日本国民が、ネット（ウェブサイト、SNS、スマホ ）で、  
新しい政治家、自分たちの代表 の台頭を 支えていることが分かった。

私が、一番、気に入ったのは、山本太郎たちが、  
「電通 ムサシの 真ん前の 新橋で、街頭演説をやる」  
ということを出したのだ。

期日前（きじつまえ）投票が、1700万人いた。  
それを合わせて、5000万票のはずだ。

ムサシ という インチキ選挙、謀略、得票数を、  
コンピュータの違法操作をして、得票数を改竄（かいざん）する  
マシンが、使われる危険が、本当に有る。

いざとなったら、自民党と官僚の 一番、悪質な連中は、  
自分たちこそは、本物の暴力団、組織犯罪者である  
本性（ほんしょう）を露（あら）わにして、

この違法選挙、得票操作マシンを、使って、  
選挙の結果を弄（いじ）くる。

私は、そのことを一番、心配している。あいつらは、  
やると決めたら、やる。

そして、ムサシを動かしている富士ソフト株式会社、  
のマシンは、本当に動いている。

そこへ、山本太郎たちは押し掛けようとした。

ところが、新橋の SL 広場は、わざとらしい、  
商店街の 盆踊り大会の会場に、計画的に、占拠されて、

選挙演説が出来ないように、させられていた。  
自民党の右派と 電通ムサシの、犯罪者集団を、  
日本国民は、叩き潰さなければいけない。

それから、沖縄の 創価学会の幹部の、野原ヨシマサ氏 を、  
れいわ党は、東京区（定員6人）の中に立てて、

徹底的に、公明党＝創価学会に、揺さぶりをかけた。

この野原氏の 演説は、公明党全体を、震え上がらせただろう。

おそらく、創価学会の中の、インテリ層の、  
相当の人々が、魂（たましい）を揺さぶられただろう。

「 池田（大作）先生の、平和（憲法を守れ）と  
福祉 の 思想を、乗っ取り、奪い取ったのが、

今の、創価学会の会長の原田（はらだ）体制の執行部だ。

そして、山口那津男 公明党代表たちだ 」 と、

野原ヨシマサは、ネット（ウェブ）上で流された、  
立ち会い演説で、じっくりと、重低音の迫力で、絶叫していた。

長い人生の年輪を感じさせる、いい演説だ。

それと、創価学会の婦人部の女性の絶叫が、すばらしかった。

「牧口常三郎（初代会長、創設者）は、戦争に反対し続けて、絶対に、神札（かみふだ）を受け取らなかったよ。そして、捕まって、獄死したんだ」と。

これには、本当に、創価学会と、公明党は、全体が、深刻な、反省に陥ったはずだ。

何があっても、政権与党（よとう）にいて、土建屋（国土交通省）の利権と、各省の各種の福祉予算にしがみついて、

その分配（分け前）を、おこぼれを貰い、自民党の、経営者たちと分け合うのだ。

それが、自分たちの、本当の日々の活動の根本だ、という、この、深く染みついた、自分たちの、情けない、真実の傷口に、野原演説から、塩を塗り込まれる思いだろう。

創価学会と公明党は、これぐらいのちょっとした内部叛乱ごときでは、

動揺しない、と、いくら自分たちで、強がっても、徐々に、この、すでに上がった火の手の、影響は出てくる。

「そうだ、自分たちが、崇拜する池田先生の教え、にこそ、戻ろう」という、声が湧き起こる。

創価学会の中に、深く潜り込んで、安倍晋三と堅く、繋がっている、特殊な狂った宗教の連中が、

この事態に、一番、顔をゆがめているだろう。

私は、テレビのお笑い芸人たちのことは、よく知らない。  
が、宮迫博之と、ロンブーの田村亮が、吉本興業の制止と、  
脅しを振り切って、記者会見をした（7月20日）。

これで、吉本興業の、柔構造（じゅうこうぞう）の、  
裏側は、組織暴力団そのもので、電通や、自民党と深く関係して、  
テレビ局も汚れていて、それが、日本の芸能界を支配している。

お笑い芸能界の、この 暗い、危険な側面を、  
涙ながらに、宮迫と田村が、表に出した。

ところが、その間（あいだ）に入って、  
両者の仲裁をしているように見せかけている、  
松本人志の顔が、だんだん、どんどん、暴力団の素顔そのもの、  
になってきた。

この男が、実は、吉本興業を動かしていたのだ、と、  
いうことまで、バレてしまった。

この 彼らの、裏の真の顔の、表面への露出は、  
ビートたけしの 今の、素顔が、本物の暴力団の顔、  
そのものであることと、同じだ。

宮迫と 田村は、それらの、恐ろしい裏側の世界に、勘づいた。

それで、自分を守るために、そこから、必死で逃げた。

自分が生き延びることが、何よりも大事だ。

どうせ、手打ちの、和解の、というヤラセ劇を、  
このあと、テレビ局そのものを使って、するのだろう。

だが、顔を、引き攣（つ）らせてながら、自分たちも、  
同じ穴の貉（むじな）である、各局の、バラエティ番組の、  
司会者や、コメンテーター たちも上擦（うわず）った感じで、

真実を、かき混ぜて、おちゃらかしにする。

自分たちが、これ以上、国民電波洗脳のための業界の、  
裏側の、本当の、魔の手の、どす黒い、  
策略に嵌（は）められないように、

決意して、自らを白日の下に晒（さら）して、  
吉本興業の悪魔性を、暴き立てた。

この他に、ジャニー喜多川の死で、彼の  
犯罪性の 少年愛と 強いホモ、  
オカマの習性（上品に言えば、LGBT、エル・ジー・ビー・ティ）で、

多くの少年たちを威嚇して、奴隷にして働かせてきたことが、  
本当に持つ マッ暗の、暗い面の、恐怖のアイドル少年たちへの支配も、崩  
れつつある。



それから、京アニ（京阿尼、京都アニメーション）への  
放火攻撃の、34人ものアニメーターの焼死（18日）も、

田中進二郎が書くとおり、選挙の終盤戦で、起きた、  
異常な事件だ。

恐ろしい宗教の力が、この国を、どんどん、  
蝕（むしば）みつつある。

私たちは、身構えなければいけない。諸外国の方から、  
京アニ放火への、警告の信号が、来ている。

デクエアル国連事務総長までが、追悼の声明を出していた。

私が、当選した、立花孝志氏に、一点、どうしても、  
言いたいのは、

「どうか、右傾化、しないでください。  
テレビなどに出て、どんどん、その生来の右翼体質が、  
どんどん、表面に出て、

それで、橋下徹（まさしく、アベマ abema テレビだ。ここも、その正体  
は、統一教会 Moonie だ）の 維新の党 の、  
ような、どす黒い、裏のある政党と、

どんどん、話が合うようになって、あそこに、引き込まれて、  
立花氏の、その、生来の右翼体質が、どんどん、  
表明化することがないように、注意して下さい」

と、私、副島隆彦から願います。

本当に、日本の民衆のために、国民のために、  
闘う政治家であって欲しい。

日本の 最下層の、今や、一千万人いる、年収2百万円 の、  
最下層（一番下の下流=かりゅう=）の国民が、出現している。

この 一千万人の日本人の 希望を、すくい上げるために、  
山本太郎と、 立花孝志 が、出現したのだ。

今から50年前に、それまで、日本共産党が持っていた、  
日本の最下層の、一番の貧乏な層の国民を、

公明党が出てきて、奪い取った。

このことも十分に深く仕組まれていた。

日本共産党は、もう、その、 共産党の、名前を変えて、  
棄てて、「日本民衆党」か「日本人民党」に看板を変えるべきだ。

ロシア革命（レーニン、とスターリン）と、

中国革命（毛沢東）が、やってしまった、血塗られた、

赤旗の、共産主義革命の、悪の部分、今こそ、表に出して、  
公然と払拭するべきだ。

よくて、あの ロシア革命、と 中国革命は、

「平等社会を作ろうとした、人類の大実験だった」。

この大実験をやってみたが、大失敗した、のだ、  
とはつきりと自覚すべきだ。

それで、どれぐらいの ロシア人、中国人、それから、  
東欧や、その他の民族、国家にまで、被害が及んだか。  
多くの理想主義の、まじめな人間が、大量死させられたことか。

このことを、そろそろ、日本共産党は、自分たちも、  
実は、ひどい目に遭ったのだ、と、正直に告白するべきだ。

日本人の共産党員は、ロシアや中国からの命令を受けて、  
「武装蜂起せよ、暴動を起こせ」と言われて、  
それで、大間違いを犯した。

ソビエト・ロシア（コミンテル）の為に、  
どれだけの日本人共産主義者が、その後、犯罪者扱いされて、  
悲惨な人生になったか。

ほとんどの日本の左翼は、「戦争反対、天皇制反対」を  
言ってビラを撒いた程度だ。

それで、政治警察（特高、内務省刑保局）に捕まって、  
簡単に転向しない者たちは、拷問にあつて、  
戦前、殺された者が、

作家の小林多喜二（こばやしたきじ）を筆頭にして、数百人いた。

それが、日本共産党の歴史だ。1955年から  
(6全協、第6回全国協議会)からは、暴力路線を全て棄てて、貧しい層の  
日本国民を味方に取り込むことに専念している。

だから、今の日本共産党は、何も悪いことはしていないのだから、  
自分たちの過去を正直に語って、日本の 民衆、大衆と、  
大きく和解して、

労働者階級 (レイヴアラ・クラス) を率いる政党になるべきだ。

あるいは、他の野党の、大同団結で、大きな政党になるべきだ。

いつまでも意地なんか張ってはいけない。

そうしないと、安倍晋三たちの、  
「燃えるような反共 (はんきょう) の精神で、実際に、  
いつも、信念が燃え上がっている」 反共だけ、

を根本教理とする、奇っ怪な集団が、布教して、  
経営者や資産家たちを、折伏 (しゃくぶく) し続けてる、  
本当は、空無であるのだが、この悪魔集団に、勝てない。

この50年間で、共産党に替わって、上手に、公明党が、  
日本の最下層の 選挙の票 (支持) を握ってきた。

ところが、どうも、創価学会、公明党の信者、支持層の生活水準が、  
この20年間の、政府与党 (自民党べったり) 振り で、

たっぷり貰（もら）える、土建屋利権と、福祉利権  
（公明党の市会議員と、市役所の中の学会職員たちの、  
ネットワークが機能して、福祉住宅や福祉施設に全員を入れる、  
とかも、そうだ ） の分配が効いて、

生活水準が、かなり上に上がってしまった、ようだ。

そうしたら、さらに、その下に、一千万人の、新しい、  
真の貧困層が、日本に出現した。

これは、この20年間の、金融、経済の大不況のために、  
起きたことだ。

これは、日本の政治の失敗が、もたらしたものだ。

アメリカべったり、で、アメリカに屈従して、  
属国奴隷（ぞっこくどれい）をやらされ続けて、

すっかり、その習性が身について、アメリカの言いなりになって、  
どれだけでも、アメリカに資金を奪い取られて、  
貢がされている。

それで、国民がこんなに貧乏になってしまった。

世界（外国）から、見たら、日本の、この惨（みじ）めな、惨状は、  
丸見えだ。

政権に、見苦しく、しがみつく、自民党のゴロツキ政治家たちが、  
悪いのだ。

私たちの日本国は、本当に、暴力団と、気色の悪い、  
凶悪な政治宗教団体によって、支配されている国だ。

棄てられた、日本人の一番、下のド貧乏人層の、  
怒り、怨嗟、憎しみが、これからの日本国を動かす。

ここには、まともな就職も出来ない若者たちが、含まれる。

この最下層の日本人、一千万人が、これから、暴れ出す。  
彼らには、何も、持っているものがない。棄てるものがない。

この受け皿となる、まったく新しい、政治家たちが、出てきたのだ。

まだまだ、これから出てくる。

私は、彼らの動きを、日本国民のために、凝視して、鋭く、  
警告を発する。私の眼力から、逃れられると思わない方がいい。

私、副島隆彦こそは、いざとなったら、  
NHKの本部の前どころか、自民党本部や、財務省や国税庁、金融庁  
のまん前で、「日本のゴロツキ政治体制 を、ぶっ壊す！」をやれる、

これまでの、人生で実際にやって来た、その実績のある、  
先駆者なのだ。

ということを、みんな、忘れないで欲しい。

私だって、いざという時は、動くさ。学問道場の 弟子たちを、引き連れて、  
やりますから、その時は、会員たちも、集まって下さい。

副島隆彦 記

=====

山本太郎 が、次の首相になる。

日本は、変わる。世界基準（ワールド・ヴァリュース）で動く。

投稿者：副島隆彦

投稿日：2019-07-26 13:30:37

副島隆彦です。今日は、2019年7月26日（金）です。

私は、今から、香港、深圳（しんせん）に、行ってきます。現地の様子を  
目視して、帰って来たら報告します。

私は、さっき、分かった。山本太郎が、次の日本の首相になる。

このことは、もう決まりだ。

安倍晋三たち、愚劣な 自民党の右派

（暴力団 そのもの。それと、特殊な宗教団体）は、政権から、  
追い落とされる。

それは、

次の衆議院選挙（ 総選挙、という。英語で、ジェネラル・エレクトション）  
の時だ。

日本共産党の 志位和夫委員長以下、山本太郎で、  
いい、と言い出した。

私が、聞いたところでは、千葉県流山市の 看護学校の  
看護師たちが、

「山本太郎を応援する」と言い出していた。

ここは、共産党の牙城で、医師上がりの全国の  
共産党の 議員たちの 結集軸だ。

重度身体障害者2人、を大事にして、国会議員に下、  
山本太郎を、涙を流しながら、応援している。

共産党は、もう、山本太郎で、行くと決めたようだ。

そして、創価学会が、大きく、崩れつつある。  
会員の反乱が、起きている。

特に、創価学会の 婦人部が、堅い決意で、

「 平和（憲法を守れ） と福祉の 思想の、  
池田会長の教えに、戻ろう」 と、もう、  
ずっと、闘っていた。

私たちの 学問道場の 定例会（自力での講演会）に、  
創価学会の婦人部の人たちが、来ていて、私たちから、たくさんのことを、  
学んでいた。私は、このことに知っていた。



山口那津男たち、東大出の、公明党の幹部たちは、  
創価学会の「執行部」言いなりだ。

今の原田（はらだ）会長の、体制は、壊れる。  
あの、沖縄創価学会の壮年部の野原ヨシマサ氏が、

「創価大学の 池田先生、直系の人たち、どうしたんですか。

本当の

学会員の人たち、どうしたんですか。立ち上がりましょう」と、

選挙演説で、重低音で絶叫したときに、  
創価学会は、見事に、崩れ落ちた。

学会婦人部の、あの、勇敢な女性の  
「公明党 ! お前たちを、潰さないでおくものか」  
という絶叫が、効いた。

学会員たちは、今、大きな、胎動（たいどう）のさ中にいる。

全国の全ての小選挙区 に、 2万票 の 学会票がある。

この票がないと、自民党の 弱小の衆議院議員たちは受からない。

公明党は、自民党 との連立与党から、外れる。

ということは、今の自民党の衆議院議員の、  
半分が、次の選挙で、落ちる。

山本太郎が、「消費税 を 5%に下げる」を野党統一の目標の  
政策協定にする、と、テレビで、言って、

「私は、衆議院議員に出て、首相を目指します」と、  
公言した。これで決まりだ。

国民民主党（玉木雄一郎）も、立憲民主党（枝野）も、こうなったら、山本太郎に従うだろう。ここで、まだ、グズグズ言ったら、この者たちの政治生命が終わりになる。みんなが怒り出す。

玉木雄一郎は、小沢一郎が、密かに育てた、政治家のひとりだ。

愚劣極まりない、野田豚とか、自民党と裏で、密通している連中を、今こそ、たたき出さないといけない。

ウクライナに、ゼレンスキーだっけ、  
テレビ・コメディアン（お笑い）が、首相になった。

イタリアの今は、政権与党の  
「5つ星運動」を作った、お笑い芸人の、ペッペ・グリッロが大事だ。

つい最近、下野した、ギリシアのツィプラスも、元気な男だ。  
何があっても、めげない。くじけない。

それと同じ、世界の潮流（トレンド）として、  
山本太郎を、日本国民は育てた。

この男なら、何があっても、挫（くじ）けないだろう。

小沢一郎が、公然と、この、総退却戦（そいたいきやくせん）の、  
6年間、そのまえの、裏切り者の管直人や、  
愚劣な野田豚（ぶたやろう）の時から、2010年からだから、

もう9年になる。

さあ、日本国民の大反撃、大躍進が、始まった。

重度障害者を 正面に据えて、世界政治戦争に、打って出れば、  
日本は、一気に、世界中から、尊敬される国になる。

今までのような、チンコロ、アメリカの下男（げなん）、  
小林よしのりが発明したコトバなら、「アメリカのポチ公」、「アメポチ」  
を、ずっとやってきた。ここからの脱出が、一気に出来る。

もう、今度こそ、2008年の 鳩山由紀夫（はとやまゆきお）政権を、  
たった、8カ月で、謀略で、潰されたようなことは、  
私たちは、しない。

もう、今度こそ、「国民防衛隊」を作って、山本太郎政権を、守り抜こう。

私は、小沢一郎には、近寄ったことはないし、  
彼の後援会に、何度か呼ばれて、講演した  
程度だ。

その時に挨拶した程度だ。

だから、私が、裏で、小沢一郎と繋（つな）がっている、  
ということはない。

小沢一郎は、情実で動く人ではない。人の好き嫌いで、  
動く人間ではない。

いつも、冷静に、大きな所から、判断している。

すべては、日本国民のために、である。ヘンな動きをして、私欲で、計略で動く人間を、小沢は、一瞬で、見抜く。

私は、小沢一郎とは、脳で、繋がっているから、何でも分かる。だから、私が、こうやって、小沢一郎が、山本太郎を手塩に掛けて、

自分の後継者として

育てたのだ、と、今さら書いたからと言って、

「そうか、やっぱり、小沢戦略か。オザワは、本当に恐ろしい奴だ」

と、 今ごろ、気づき直す、バカがいても、

それは、自分が、バカだからで、頭が悪い上に、性格が、元々、狡（ずる）いやツなのだ。反省しろ。

私は、ずっと、もう、この20年、

「小沢一郎が、日本の本当の首相。民族指導者だ。

そのことは、自民党の奴らでも、知っている。

この事実を、知りたくないのは、自民党内の、右翼、ゴロツキ体質の、気持ちの悪い連中と、そのお仲間の、自分のことしか考えない、従業員を大事にしない、強欲な経営者たちだ。

小沢一郎が、田中角栄の 血を引いている、  
正統（レジティマシー）の日本の、世俗（セキュラー）の国王だ。

小沢一郎が、今の、西郷隆盛であり、織田信長なのだ」と、

ずっと書いて来た。小沢一郎は、私が、  
このように書いて来たことを、知っていると思う。

「アメリカが、日本の戦後では、鳩山一郎と、石橋湛山と、田名角栄と、  
小沢一郎 を 、自分たちの言うことを聞かないで、

中国や、ロシアとも、話をしようとする、  
と、潰（つぶ）した」と、書いて来た。

次の衆議院選挙は、安倍たちは、焦っていて、  
年末にやる予定を、ずらして、来年の春にするのではないか。

消費税を 10月に、10%に 上げれば、  
また、景気が落ち込む。

さらに、8%ぐらい国民消費が落ちる。安倍たちは、

なんとか、この、山本太郎の台頭（たいとう）、  
下から吹き上げてくる大潮流を、押さえ込もうとして、必死になるだろう。

だが、もう、勝てない。

なぜなら、共産党（600万票） と 公明党（700万票）、と、  
全国の障害者と老人を大事する勢力（2千万人）が、もう、  
山本太郎に付いたからだ。

今度の参議院選挙の 得票数は、5000万票だ。

もっと正確に書くと、5012万票だった。

それで、投票率は低くて、参議院選挙と言うこともある。

その中で、山本太郎のりえわ新撰組党 は、  
228万票（票の集計に不正、違法がなければ ） で、得票率  
4.55%だ。

次の衆議院選挙は、投票率は、70%を超えるだろう。

総選挙は、国民の 5千万人 と、 5千万人 の 闘いだ。

残りの2千万人は、子供たちだ。 がっぷり4つの闘いだ。

上の、5千万票は、自民党と、特権、権益層 の 票だ。

これが、急に落ちる、ということはない。これまでに、たっぷり、  
自民党政治で、うまい利得を得てきた層だ。

そして、大組織にいて、その利権で、恩恵を受け、得をして来た層だ。

若い人であっても、親や、親戚の、コネで、  
いいところに、就職できたような、人たちだ。

若い頃からの、腐敗人間だ。

私は、九州から出てきて、何のコネもなく、  
必死で、自力で這い上がった。

東京に出てきても、コネがないと、貧乏若者では、  
どうにもならない、と あの時、切実に思った

それに対して、「下の方」の5千万人が、健全な判断力をする、  
汚れていない日本人たちだ。

利権のおこぼれを貰（もら）えない人たちだ。

この5千万人が、動く。そして、山本太郎を、  
総理大臣に、押し上げる。

私は、山本太郎 が、首相になったら、秘密警察の長官  
にして貰おうと、彼に頼みに行く。

いや、そんな、卑屈な事を、副島隆彦が、してはいけない。

私は、満場の 国民集会の中で、満場の拍手で、  
全員が打ち鳴らす賛同の意思 によって、

私は、国民運動の、秘密警察長官 の 役職に付く。

そして、必ず潜り込んで来る、おかしい奇妙な、  
奇っ怪な、人間たちを、摘発して回る、仕事をする。

おかしい人間は、私が、事前に、叩き出す。  
私の眼力で、すべてを見抜く。

私の目の前に現れた、  
あらゆる種類の謀略人間（ぼうりやくにんげん）を、見つけて、

早めに、たたき出す。

そうやって、清新な国民運動を、私が、  
ずっと、遠くの方から、守る。

秘密警察長官 にしか、私は、なりたくない。

それは、名譽職であって、どんな義務も、  
拘束も、私には、掛けられない。  
私は、自分の好きなように動く。

そのように、これまで、私は、ずっと書いて来た。  
何を、副島隆彦は、馬鹿なことを書いて。冗談だろう、  
と思っている人は、考えが甘い。

私は、本気だ。 私は、こうやって、日本国民に 奉仕する。  
知識人、言論人、思想家としての 最後の、自分のお勤めとする。

私は、上記のことを、すこしだけ、柔らかくして、  
一冊に本にして出版すると、今、決めた。

私が、こんな、「山本太郎 が、次の首相になる」という本を出したら、  
山本太郎の迷惑になる、と言う人も出てくるだろう。

が、そんな、ことは、気にしない。誰が、何を言おうが、  
私は、ここは、押せ、押せ、押せ、で、この好機を逃さない。



日本国の、本当の 世界水準への、押し上げ、

今の憲法典の前書き にも書いてある、

「世界中から尊敬される国、名誉ある地位を占める国」なる。

そして、なによりも、若い人たちに、絶望ではない、

今の中国の若者たちが、大きな成長を作っているのと同じ、

若い人たちに大きな目標を与えられるようにする。

こんなことを書いて、副島隆彦の、いつもの、激発性の

妄想（もうそう）だ、と、思う人は、思えばいい。

副島隆彦は、自称ではあっても、

国家戦略家（ナショナル・ストラテジスト）を名乗る、

近（きん）未来の予言者なのだ。

どうせ、来年には、山本太郎の政権が出来る。

副島隆彦 記

=====

以上です！！

それで今回の副島先生の言論によると

「次は山本太郎政権ができる」ということですよ。

私は未来は分からないものの、かなり興味深く読んでおりました。

それで一応今回の参院選挙ですが私はすごい面白いなと  
思ったのですが

学問道場の「一会員」という方が以下のようなことも  
書いていました。

今回はN国党やれいわが注目された選挙であったけど  
彼らは「諸派」扱いだった。

それに対してのこの方の書き込みですが

「実のところ、私の周囲で選挙後に「どこに投票した？」という  
話をした人達からは、今のところ「れいわ」か「N国党」しか聞いていない。  
全然「諸派」じゃないのである。」

ということで、なるほど、なんて私は思ったものです。

それで私ゆうはというとやはり今回の選挙で  
注目していたのが副島先生が書かれているN国党（右からの攻撃）  
の動きでしたが、

ただやはり私のメルマガで以前よく扱ってたのが  
山本太郎氏でもありましたから、

私の場合ははっきりと2009年の小沢鳩山政権支持の人間  
ですから、

山本太郎氏にも注目していたんですよ。

ただ少し私が 気になってしまったのが  
「日本は公務員が少ないです。  
それなので公務員を増やします」っていう

政策が入っていたことでしょうか。

あとは副島先生が新刊本で批判していたのが  
MMT 理論ですが、この MMT 理論の導入も唱えていると。

それでまた富裕増税ということで、  
消費税が減税されても、また税金新しく取られる国になるのか・・・

と落胆はしましたが、

そして参院選中にはやたら山本太郎さんが  
マスコミにポジティブに取り上げられており、

少しそこに疑問を感じた、というのは正直ありますよね。

小沢一郎さんと離別していたというのも気になる。

ただこの小沢一郎さんとの離別が

「偽装離婚ではないか」

という指摘もありまして、

例えばですが、私なんか最近考えていたのが

「共産党なんか（官僚に対して切り込もうとしてる）

小沢一郎との合流に難色を示していたから

あえてそこで山本太郎と離別して

山本太郎に合流させたのかな」

なんて話は考えておりました。

そこで山本太郎氏の「公務員をもっと増やします」という  
政策は共産党なんかも立憲民主も受け入れやすいですから

そこで表向き出した政策なのか・・・

まあ今は分かりませんが、

ひょっとしたら小沢一郎さんとの裏の合意での

離別があって

そこで山本太郎が共産党などの野党も率いていくっていう  
構図なのかもしれません。

それで今回は アメリカでトランプ大統領が登場すると

言い当てた副島先生ですが、

その副島先生が山本太郎が首相になるってことを  
言い出したのは注目でありますよね～

個人的には日本全体の「金持ちつぶし」なんかには  
かなり疑問を持ってるんですが、

それこそ底辺から這い上がった投資家や起業家たちが  
官僚や公務員たちにどんどん潰されていっており、

今あらゆる業界が元気がない。

この根本が変われば、官僚機構の支配が終わって  
政治家主導になれば、

正直誰でも首相はいい、くらいに私は思ってるんだけど  
どうも今の安倍ではトランプに必死に合わせてみてるものの

この流れを変える力はないってことですよね。

そこで私も含めて既存の与党、野党にはまったく興味がなくて  
いわゆる「諸派」に投票する人が今回の選挙では  
多かったんだろうと見てます。

すなわち 右と左の戦い自体欺瞞である

と気づいた人たちで

おそらく 保守的な 近代デモクラシーと資本主義を推進しましょう  
みたいな考え方が潜在的に強い人（小さな政府推進者）は

おそらく N 国党に入れた人間が多いでしょうし

比較的左派よりの 共産主義もまあまあいいんじゃない、  
というタイプの人たちで

けど既存の野党も信用ならん、  
彼らでは戦えない、

って言う人たちは  
これは れいわ 新撰組に入れたんでしょう。

それで私が見ていたのが

山本太郎氏の最低賃金引き上げ政策（1500円に）とか  
公務員をもっと増やしていきましょう

っていう流れはまさに韓国のムンジェインの  
選挙政策そっくり  
でした。

ちなみに韓国の人がなんでじゃあそのムンジェインに政権握らせたか？

と言いますと

以前に、ノムヒョン政権時代ってのがあった。

このときも公務員優遇なんてのは「表では」言っていたけど  
実際は「公務員がもっとも弱かった時代がノムヒョン時代だった」

ってのは韓国の人たちが私に言っていたことです。

だからこの「公務員を増やします」と表向き言うムンジェインを  
大統領にしたのが韓国の人らだけど

その動きが日本にやってくるのかどうか？ってのは  
注目ですよ。

ちなみにそうすると、2009年以來の

「左からのエスタブ攻撃」となるのでしよう。

ちなみに、今のアメリカの状態はどうなってるか？

というと、まず共和党、右側が

「右からの既得権益攻撃」をトランプ大統領が行っているわけですが、

実は民主党でも同じく既存のヒラリーなんかと距離を置く  
エリザベス・ウォーレンとかが出てきて人気を博している。

山本太郎なんかはアメリカの左からのエスタブ攻撃の  
姿勢に政策がすごい似ているなっただのも感じます。

だから今回の参院選は

諸派といわれたけど

「右からのエスタブ攻撃」としてN国党、

「左からのエスタブ攻撃」として山本太郎

ってのが出てきた感じですよ。

そろそろもう本番の衆院選が近いうちにあるでしょうが、

既存政党のエスタブたちには従わない、

諸派といわれる人たちがこれから議席を大きく取りそうだな

なんてのは感じた点です。

それで副島先生の場合は山本太郎が首相になる

という話をされているってことですね～

まだ参院選が終わったばかりではありますが  
いよいよ次の衆院選、誰に投票するのかってのは

考えていくのも大事ですよ。



それで私含めて多くの小沢一郎を支持してた人が  
れいわ新撰組に入れたかったけど

「また公務員増やすの？小沢さんが言っていた  
(故石井こうきさんが死んでまで国政調査権を使って調べた)  
(官僚や公務員の利権であった) 特別会計切り込みの話はどうしたの？」

なんて話で  
れいわ新撰組に投票するのを躊躇したはずなんですよ。

そんでたぶんそんな人たちは比較的2009年の小沢鳩山に  
近い反官僚の思想で、特殊法人NHKに切り込みを入れるであろう  
立花に入れたのだらうと思います。

それで個人的にはNHKをぶっ壊せ、で彼らNHKという  
官僚たちの天下り先の既得権益を壊すことは賛成でありますよね。

また、山本太郎の公務員を増やせとか、  
さらになんか頑張って底辺から這い上がる若者にさらに増税を課すなどは  
反対ですが、

ただ彼の言う、というか小沢さんの思想でもある  
脱原発は個人的には考えるべきと思いますし、

また消費税廃止なんかは当然支持ですし、  
最低賃金1500円もちゃんと中小事業者たちが  
人件費高騰でつぶれるようなことがなければ、

そのような補償がされるなら支持ですよ。

あとは公共工事拡大政策とか MMT 政策については・・・

ちょっと考えさせられますよね。

ただ例えば特別秘密保護法であったり  
水道法、カジノ法、漁業法、入管法、種子法、  
派遣法、安全保障関連法、刑訴法、

などを一括見直すってのは  
これは重要だと思います。

また TPP 協定なんかもやはり安倍が進めてますが、  
これは ISDS 条項なんかが効力をまったく発揮できない状態に  
なってるのをちゃんと確認して

多国籍大企業たちの独占状態が進まないように  
再度協定を見直すのは大事ですよ。

まずその TPP 協定なんかは私たちは中で何がされてるか  
分からないわけですから、  
それはしっかり開示して  
民意を問うのが大事だと思います。

また所得税法一部改正、ということでして  
私なんかは派遣から這い上がって、それで  
所得税とかにかなり苦しんだ人間ですが

この所得税改正にての増税ってのは・・・  
そこは考えさせられます。

すなわち私みたいな小さな政府で  
純資本主義をちゃんと整備して独占も見直して

自由主義と民主主義の合体した  
近代デモクラシーを推進していきましょう、

みたいな小さな政府を支持する人は  
(けど若者中心に、大勢いると思う。  
が日本では若者の声は届かない。)

本当はだから選挙で積極的に入れる党がない  
わけですが

これからそういう人の意見を受け入れる受け皿も  
出てくる、のかもしれない。

ただこういうリバータリアン的なアメリカの共和党みたいな  
政党はまだアジアでは数十年は出てきづらいのかななんてことも  
考えてまして、

まずは一度既得権益を壊して、  
その後の世代の話になるのかもしれませんがね。

それで山本太郎の政策を私は実はこの1ヶ月ずっと見てる  
んだけど、

非常に支持するのがあって

それが

「真の独立国家を目指します  
～地位協定の改定を～」というのがある。

<https://v.reiwa-shinsengumi.com/policy/>

「沖縄・辺野古基地建設は中止。普天間即時の運用停止。  
在沖海兵隊にはカリフォルニア等への移転をお願いし、  
これまでの駐留経費と同等の費用を日本側で持つことを前提に、  
米国側と再交渉。沖縄の民意を尊重します。  
費用負担が厳しければ、必要分の米国債売却を検討。  
対等な同盟関係を築けるよう、真正面から取り組みます。」

というものです。

私はこの 「米国債売却」 は支持する人で  
さらに他国の軍はやはり日本から出て行って  
日本は自主防衛をしていけばいいという考え方ですが

実はこの山本太郎の政策ってのはトランプも  
米軍撤退させたいから、トランプとも馬が合う。

そして山本太郎の政策に急に出てきた

「公務員増やします」

っていう政策で私は「うーん」と考えさせられたのが  
正直なところですが、

今の官僚や公務員の暴走ってのはその権力の源泉が  
米軍ですから

この米軍がいなくなれば一気に弱体化するのは  
明白ですから

それなので山本さんの公務員を増やします、なんて  
昔のネットウヨたちが主張していたような政策は

ひょっとしたら ブラフの表向きなのかもしれませんね。

公務員や官僚たちが増えても、  
米軍が撤退して彼ら行政の力が弱まって  
彼らが今のように暴走できなくなれば、それで良い。

なので山本太郎が首相に仮になっても  
以外に最初は混乱しそうですが

うまくいくのではないかな、という感じもします。

それでこの辺の「諸派」たちの  
政策についての議論はこれから

色々進められるでしょうが、  
そろそろ日本も変わっていくのかもしれないね。

それで私が考えていたのが国際部分では  
もういずれにしても、

日本はこれから中国や韓国や北朝鮮やロシアと  
仲良くやっていくほかないんだろうな、

ということですよね。

もう自民なんかの政治家もそのように背後では動き出してますし、  
(だから米軍撤退については自民政治家たちも  
それに沿って動いている)

いずれにしても対米従属するのは近いうちに  
日本でも終わっていくのでしょう。

これはもうマレーシアの選挙では見られた話で  
以前のナジブ首相が中国とすごい親密だったけど  
そこで色々問題があって糾弾された。

それで野党マハティールは中国との連携を見直すべきだ！  
とやったんだけど

実はこの前 中国と一帯一路で協調を発表してるわけでした

結局この大きな覇権転換の流れにおいては  
どの政治家になっても大きな流れは変わらないのだろう  
なんてのは私が考えてるところですよ。

たださすがにもう今の日本は貧乏な人が増えすぎて  
大企業や官僚公務員の連合で いわゆる上級国民（これは右の言葉）  
がのさばってますが、

ここをなんとかしてこれからの変化に対応していく体制を  
作るほうがいいのでしょうか。

そういう意味で れいわ新撰組の山本太郎の  
衆院選のこれからの動きってのは  
注目ですね。

ただ共産党や立憲なんかとの連携ですが  
これは株とかFXなんかの税金上げると来てますから、

これは考えさせられます。

マレーの場合は、消費税 GST が下がった上で  
また高速道路のゲートも取り払われたわけです。

それで山本太郎はマレーシアにも言及してますが

「消費税は、廃止。「消費税廃止？そんなの無理だよ」。あなたは、そう考えましたか。実際に、消費税を廃止した国、ありますよ。

マレーシアです。

マレーシアは、法人税の次に税収の多かった消費税を廃止。

高級なサービスなどを利用する時にかかる、  
金持ち向けの税制を復活させました。

なぜ、マレーシアでできたことが日本にできないって  
言うんでしょうか。

マレーシアでは、人々がそれを本気で求めた。  
そして、政治を動かした。だから、実現したんです。」

といった。

ただこれはひとつ誇張してる部分はあって  
私もマレーシアの消費税廃止をマレーシアから  
大々的に書いた人だけど

ただマレーシア政府はっていうと  
それ以外の極端な 金持ち向け税制ってのは  
厳しくしていないんですね。

あくまでも「小さな政府のまま」です。



だから、公共工事はぼろいですし、  
歩道なんかは結構ぼろいんだけど、

ただ人々は笑顔です。

所得税なんかも還付されている。

だからちゃんと 貧困層だけではなくて  
中小の投資家や経営者たちにもちゃんと配慮した政策ですよ。

「金持ちは悪い！カネ稼ぎは悪である」という

考え方の税制ではない。

それこそ、中小の投資家や経営者たちってのは  
私も含めて、元々母子家庭で貧乏で派遣でなんとかそこから  
這い上がるために勉強して 稼げるようになった、そういった  
類の境遇の人も多数いるわけで

その人たちを悪者、として所得税の高税率で  
片付ける税制ではないです。

山本太郎さんは私よりも年上ですし色々分かってるから  
それを理解した上で発言されてるでしょうが

ただやはり 本当のことを言えば、  
今の日本で

マレーシアのマハティールとか、  
あとはアメリカのトランプのような

小さな政府でそれでなんとかがんばっていくぞ

みたいなリバータリアン政党は・・・

見当たらないってのが正直な私の考え方ですよ。

最近「個人で会社や国に所属せずに  
自分の力で稼ぐ個人」

が増えてるけど、

その事業者の声を反映してる

本当のポピュリズムの政党ってのは  
まだ日本では諸派でさえ、  
出ていないってのは

私を感じた点です。

ただ数十年したら出てくるのかもしれない。

まあだから私は「うーん」と考えるんだけど  
私の読者も私が前に結構動画とか扱って宝  
山本太郎支持は多いんだけど

私は私でリバータリアンのような  
政党や政治家ってのが日本にはまだ現れていない  
ってのが考えさせられるところです。

だから今回の参院選の投票率にもそれは  
出ていて

48.8%で過去2番目に低かったんですね。

実際に多くの方は積極支持する政党や候補者がなかった  
ってのがこれまた本当のところだろうと思います。

これは れいわ新撰組だったりN国党や  
与党野党も含めてですが

ほとんどの政党が特別会計切り込みを2009年の  
小沢鳩山時代のように打ち出さなかったところに  
大きな原因があると思いますが、

結局国家とは税のことですから  
この税を適切に使う政党、政治家ってのが  
出てくるのが必要ですね。

私の本音は上記のようなもので、  
また吉本興業の話であっても警察の天下りコンプライアンス利権抜きには  
語れないと思いますが

ただそんな中で今回

諸派として

右からはN国党、  
左からは れいわ新撰組

つてのが頭角を現してきたつてのは  
注目すべき現象かとも思いましたよね～

これからも日本政治はまた動きがあれば  
見て生きたいと思います。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみにですが、  
私ゆうなんかは 日本にいたとき困っていたのが  
警察の職務質問の数であったりしました。

当時私が結構やんちゃな格好していましたから、  
そこでよく渋谷なんかで職質に「強制的に」あっていた。

あれは任意であるはずですが、  
実質は強制なんですよね。

職務質問にあったことある人は分かると思う。

ただ例えばですがこういう警察国家化が進む現状において  
その「警察国家化を阻止しよう」という

そういう政党ってありますでしょうか？

たぶん私以外にも最近の警察官僚たちの暴走って  
感じてる人は大変多いはずですよ。

が、それらの声を代表する政党はあまり見ませんよね。

この辺はまさに本丸であって、  
日本の本当のやくざってのが警察であるから

そこを突っ込む政治家とか政党って冤罪などを恐れて  
いないわけですが

アメリカなんかではそこでリバータリアンたちってのが  
怒ってトランプ誕生させたのですよ。右から。

アメリカは自由の国であったけどオバマ政権時代に  
公衆の場でダンスしただけで保安官や警察に拘束されるようになった。

そこで本当の自由主義者たちが怒って  
アメリカというのは自由主義と民主主義の合体した体制の  
世界で初めての国であるから、

そこで

「表現の自由を侵すとは何事だ」ってことで

中小企業の経営者たちを代表する、  
ポピュリズム政治家としてトランプが出たのであります。

(ポピュリズムってのは労働者を代表する動きではなくて  
中小経営者の本当の保守的なおっさんたちの声を代表するものだ、と  
私は副島先生に習いました)

ただ日本ではいまだに実際のところは  
中小事業者たちの声を代表する政治、政党は現れておらず、

例えば自民公明は言わずもがなで  
大企業と官僚公務員擁護ですし、

また共産党だったり れいわ新撰組なんかは  
貧困者の声を代表しますが

そこで中小事業者の経営者のおっさんが積極支持する  
政党ってないんですね。実は。

消費税がなくなっても彼ら中小のなんとか利益あげてる  
おっさん、おばちゃんからしたら  
所得税や法人税があがって結局重税で苦しむことになる。

N 国党も扱いますが、やはり

「NHK は確かに問題だけど  
NHK だけ言われてもな〜」

ってのも多くの人はあると思う。

逆に私なんかはマレーにいるけど、  
マハティール首相ってのはやはり尊敬できる人だ、とっていて

GST 消費税下げたけど、だからといって  
左派的な「金持ちは悪だ みたいなプロパガンダ」は慎んでるし、

ちゃんと若い事業者たちに金儲けさせるために  
規制なども極力緩和を続けていて

あまり官僚たちに力を持たせないように動いている。

だから底では既得権益とズブズブでない人は  
経営者であっても投資家であっても  
中間層であっても、貧困層であっても、  
マハティールを積極支持するわけです。  
(私は外国人だから選挙権はないけども)

私が見てるのはそこですね。

そういう流れが日本に出てきたら面白いのにな、なんてのは  
私がぶっちゃけ感じてる点ですよ。

なので日本の政治を見ていると考えさせられる点は多いのですが

副島先生のそんな中での山本太郎が次の首相っていう  
言論は注目した次第です。

それでは！